（臨床研究に関する公開情報）

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

脊椎患者における腹腔動脈と正中弓状靭帯との解剖学的関係の検討

[研究責任者]

江南厚生病院　整形外科　伊藤研悠

[研究の概要]

胸腰椎移行部後弯変形に対して手術を行った際に正中弓状靭帯が腹腔動脈を圧迫（正中弓状靭帯症候群：MALS）し支配臓器の血流障害をきたす腹腔動脈起始部圧迫症候群（CACS）の報告があります。CACS は時に重篤化し生命的な危機に陥る場合もあります。しかし脊柱変形矯正手術時における MALS、CACS の発生は脊椎外科医に十分に認知されているとは言いがたく、腹腔動脈や正中弓状靭帯と脊椎との解剖学的位置関係も十分な知見は得られておりません。脊椎手術予定患者の横隔膜周辺の解剖学的位置関係や正中弓状靭帯圧迫症候群の危険因子の検討を行うことで手術に伴うリスクを軽減できないかと考えています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2018 年 4 月 1 日から 2020 年 4 月 1 日までの期間中に、当院にて脊椎手術を行なった患者を対象とします。

●利用するカルテ情報

手術前造影 CT 画像矢状面において

腹腔動脈（CA）の発生椎体高位（各椎体を頭側と尾側に二分した）、CA 径、CA と大動脈（Ao）とのなす角度、狭窄の有無、正中弓状靭帯（MAL）との距離 等

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院　整形外科　伊藤研悠
電話　0587−51-3333